

CP富士 泥んこレース～MUD RUN～



(記念撮影をする堀地南関東防衛局長【中央】、エスカミヤキャンプ富士司令官【左】、若手職員たち)

平成30年6月17日(日)に静岡県御殿場市に所在するキャンプ富士において、今年で4回目となる「泥んこレース～MUD RUN～」が開催されました。「MUD RUN」は、コース内に設置された様々な障害を泥だらけになりながら乗り越えていくレースです。今年は昨年と同様に難易度の高いコースが設定され、5kmの個人競技、3人1組のチームラン、1.6kmキッズコースなどの部門に分かれて順位を競いました。

参加者は注意事項の説明の後、それぞれがエントリーしたレースに参加しました。コースには泥だまりや壁のぼり、踏みならした小道などの12個の障害が置かれ、ゴールを目指して各所で激戦が繰り広げられました。

当局からは堀地局長が個人競技に、若手職員3人組がチームランに参加し、それぞれがコスチュームに仮装してレースに臨み、泥まみれになりながらも完走しましたが、惜しくも入賞を逃しました。

レース後の表彰式では、各部門で男女別に1～3位入賞者が表彰されたほか、特別賞の発表も行われました。昨年度に続き今年も若手職員チームが仮装部門特別賞を受賞し、豪華な賞品を受け取りました。



(泥の坂をロープで登る若手職員)

レースに参加した若手職員からは「森の中を走れてとても気持ち良かった」「最後の泥だまりが大変で印象に残った」などの感想が聞かれました。また、全員が口をそろえて「来年も参加したい」と言っていたことから、同レースの楽しさが伝わってきました。



(草むらを軽快に走り抜ける堀地南関東防衛局長)

主催者によれば、イベントへの参加者は約500人、うち日本人は9割とのことでした。このイベントは、海兵隊隊員が休日にも関わらずスタッフとして参加したり、有志でコースを作成したりととても力を入れて取り組んでいます。その熱意が伝わったのか、参加者は皆とても満足げな笑顔でした。

今年も大盛況で幕を閉じた「MUD RUN」は来年以降も続いていくそうです。



(仮装部門特別賞を受賞した若手職員 高橋事務官【左】、富田技官【中央】、奥田技官【右】)